

2014.09.16 37会、南外輪山(駒返峠～清水峠)
コフウロ、ギンリョウソウモドキ



12:16 駒返峠(こまがえりとうげ) 1070m



08:13あそ望の郷くぎの



08:22あそ望の郷くぎの
国土地理院の2万分の1の地図を片手に行程の確認

NTT西日本清水無線中継所



清水寺



九州自然歩道 南外輪コース

本コースは、外輪山の頂上附近を通り、矢部町（国民宿舎）と高森町（国民休暇村）を結ぶものです。駒返峠、高千穂野、清水峠などには、それぞれの由来や伝説があり、住時の交通、文化をうかがうことができます。また北には阿蘇五岳の四季おりおりの景観が、南には矢部郷一帯の広がりや九州脊梁山地の眺望がすばらしいところです。

国有林内は、ナラ、ヤマモミジ、アセビ、ミヤマキリシマ等が混在する樹林内を通り、それを過ぎると原野が広がるといった変化に富んだコースです。



矢部国民宿舎	一稲生野	10.0 ^{km}
稲生野	大矢野国有林	5.0 ^{km}
大矢野国有林	駒返峠	3.5 ^{km}
駒返峠	多津山峠	1.2 ^{km}
多津山峠	天神峠	1.1 ^{km}
天神峠	清水峠	2.2 ^{km}
清水峠	長谷峠	2.0 ^{km}
長谷峠	高森峠	5.0 ^{km}
高森峠	国民休暇村	6.0 ^{km}

環境省・熊本県

清水寺（きよみずでら）

ここから北おおよそ2Km下ったところに、「雲龍山清水寺」がある。この寺の縁起書や伝説によれば、天平のころ僧行基により創建され、承平年間兵火のため焼失し、そののち元暦（平安時代）のころ平重盛により再興されたという。その後、幾多の変遷を経て正保年間（江戸時代）僧慶順は、その荒廃をなげきこの寺を禅刹として再建した。本尊の千手観音像は秘仏とされ、住持一代に一度だけ一般の参拝が許されることになっている。

高千穂野（たかじょうや）

ここから西に、おおよそ3Kmのところ天然林に覆われた台地がある。標高1,101mで高千穂野と呼んでいる地名のゆかりについては、いろいろ言われているが定かなものはない。附近からは北に阿蘇の五岳が一望できる。特に高岳、根子岳とそれを含めた南郷谷の眺めは何とも言えない素晴らしいものがある。この高千穂野の西寄りに古墳らしいところがあり昔から御陵墓であったと言い伝えられている。

環境省・熊本県

九州自然歩道 南外輪コース

本コースは、外輪山の頂上附近を通り、矢部町（国民宿舎）と高森町（国民休暇村）を結ぶものです。駒返峠、高千穂野、清水峠などには、それぞれの由来や伝説があり、住時の交通、文化をうかがうことができます。また北には阿蘇五岳の四季おりおりの景観が、南には矢部郷一帯の広がりや九州脊梁山地の眺望がすばらしいところです。

国有林内は、ナラ、ヤマモミジ、アセビ、ミヤマキリシマ等が混在する樹林内を通り、それを過ぎると原野が広がるといった変化に富んだコースです。



清水寺 (きよみずでら)

ここから北およそ2Km下ったところに「霊巖山清水寺」がある。この寺の縁起書や伝説によれば、天平のころ櫻行僧により創建され、承平年間火災のため焼失し、その古瓦を、平安時代、この平重盛により再興されたという。その後、幾多の変遷を経て正保年間（江戸時代、徳川幕府）のころ瓦葺きをなすこの寺を禪刹として再興した。本寺の千手観音は秘仏とされ、住持一代に一度だけ一般の参拝が許されたことになっている。

高千穂野 (たかじょうや)

ここから西に、およそ3Kmのところは天然林に覆われた自然豊かな。標高100mで高千穂野と評されている地名のゆかりについては、いろいろ言われているが定かぬものは、戦国から室町に阿蘇の五岳が一望できる特に高島、根子とそれを含めた高千穂の畝は何とも美しいものである。この高千穂野の西寄りには古墳らしいところあり畝から御殿跡であったと推定されている。

環境省

清水峠(下山口)に吉岡車をデポし、
小出車に3人乗って
駒返峠登山口駐車場に向かう。



中世の山城

駒返城跡

矢部浜の館北大手の城跡。
阿蘇家家臣久木野備前守在城
と伝える。天正年間島津氏の
侵攻により落城。

口蹄疫防止のため関係者以外の
立ち入りを**禁止**します。

It is **keep off** because of
the prevention from
foot-and-mouth-disease penetration.

구제병 방지에 대해서 관계자 이외 출입금지

为了防止口蹄疫、非工作人员**请勿**进入。



南阿蘇村



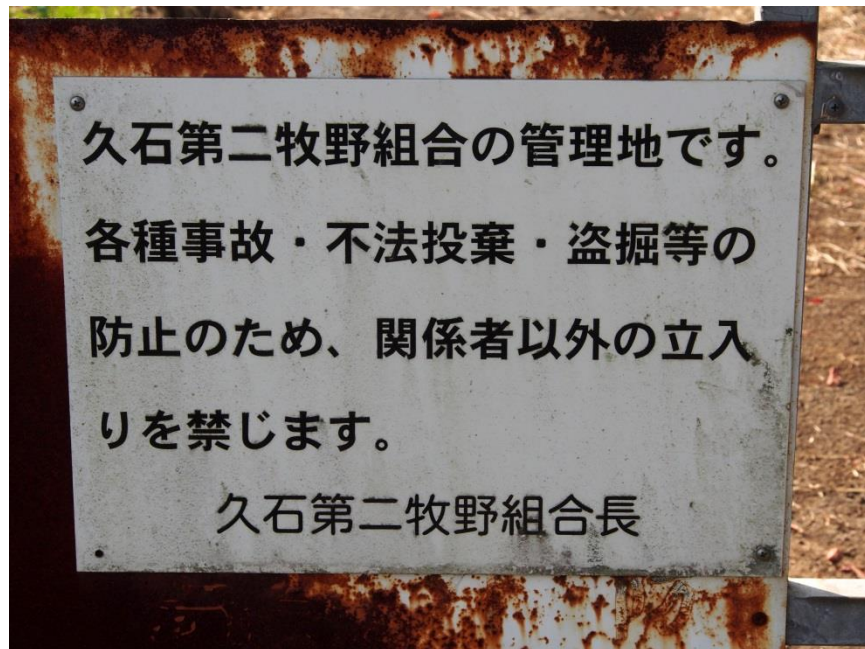
駒返峠(こまがえりとうげ)登山口駐車場

グリーンロード南阿蘇



↑
地藏峠方面

グリーンロード南阿蘇





ヒキオコシ(引起し) シソ科



ヒキオコシ(引起し)シソ科

阿蘇南外輪山



駒返城跡





10:07 沢を渡る



サラシナショウマ(晒菜升麻)
キンポウゲ科



アキチヨウジ(秋丁子) シソ科



ノブキ(野薺) キク科

ハガクレツリフネ(葉隠れ釣舟) ツリフネソウ科



キツリフネ(黄釣船) ツリフネソウ科





イタドリ(虎杖、痛取) タデ科
別名: スカンポ、イタンポ、ドンガイ



イタドリ(虎杖、痛取) タデ科
別名;スカンポ、イタンポ、ドンガイ



イタドリ(虎杖、痛取) タデ科
別名;スカンポ、イタンポ、ドンガイ

駒返峠

0.95KM



10:46

ハガクレツリフネ(葉隠れ釣舟) ツリフネソウ科



ヤマゼリ(山芹) セリ科



アキチョウジ(秋丁子) シソ科





ヤマジオウ(山地黄) シソ科



シュウブンソウ(秋分草) キク科





ミヤマタニソバ(深山谷蕎麦) タデ科



丸山キャンプ場

駒返峠
2かきろ
1070m



九州自然歩道

12:16 駒返峠(こまがえりとうげ) 1070m



12:26 昼食後、清水峠(きよみずとうげ)に向かう(ストックが指している方向)





コフウロ(小風露) フウロソウ科



コフウロ(小風露) フウロソウ科



コフウロ(小風露) フウロソウ科





カケス(懸巢、鶯、檀鳥)の羽根 カラス科 L=33cm



ギンリョウソウモドキ(銀竜草擬き) シャクジョウソウ科
別名:アキノギンリョウソウ

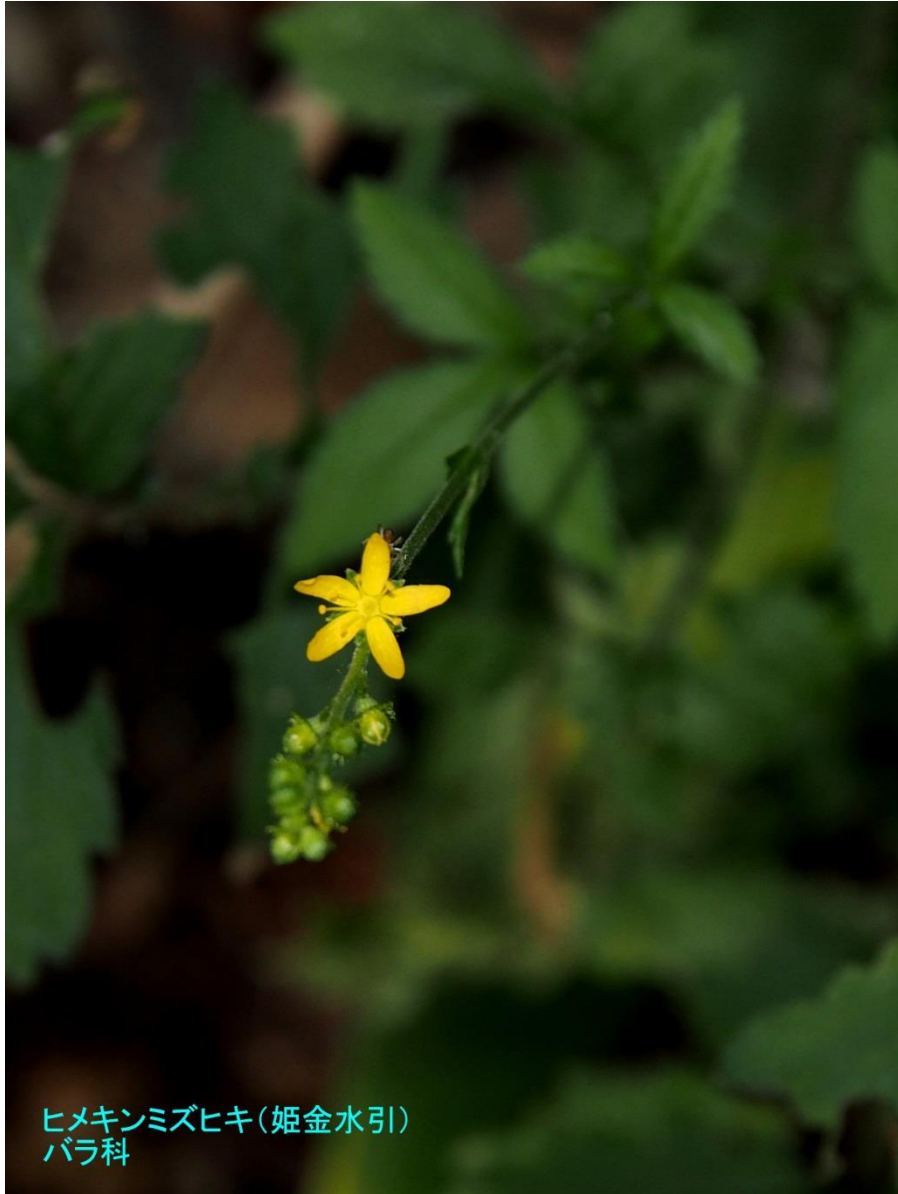


ギンリョウソウモドキ(銀竜草擬き) シャクジョウソウ科
別名:アキノギンリョウソウ





13:05





南阿蘇村



13:47 多津山峠(たつやまとうげ)1060m





ここは
天神峠
標高 1000M

阿蘇国立公園
特別地域

14:29 天神峠1000m





ここは
高千穂野
標高・1101M

九州自然歩道
高千穂野

15:07 高千穂野(たかじょうや)1101m



↑
高千穂野

15:17

今日、一番の急な丸太階段

↑
清水峠

15:18

今日、一番の急丸太階段を下る



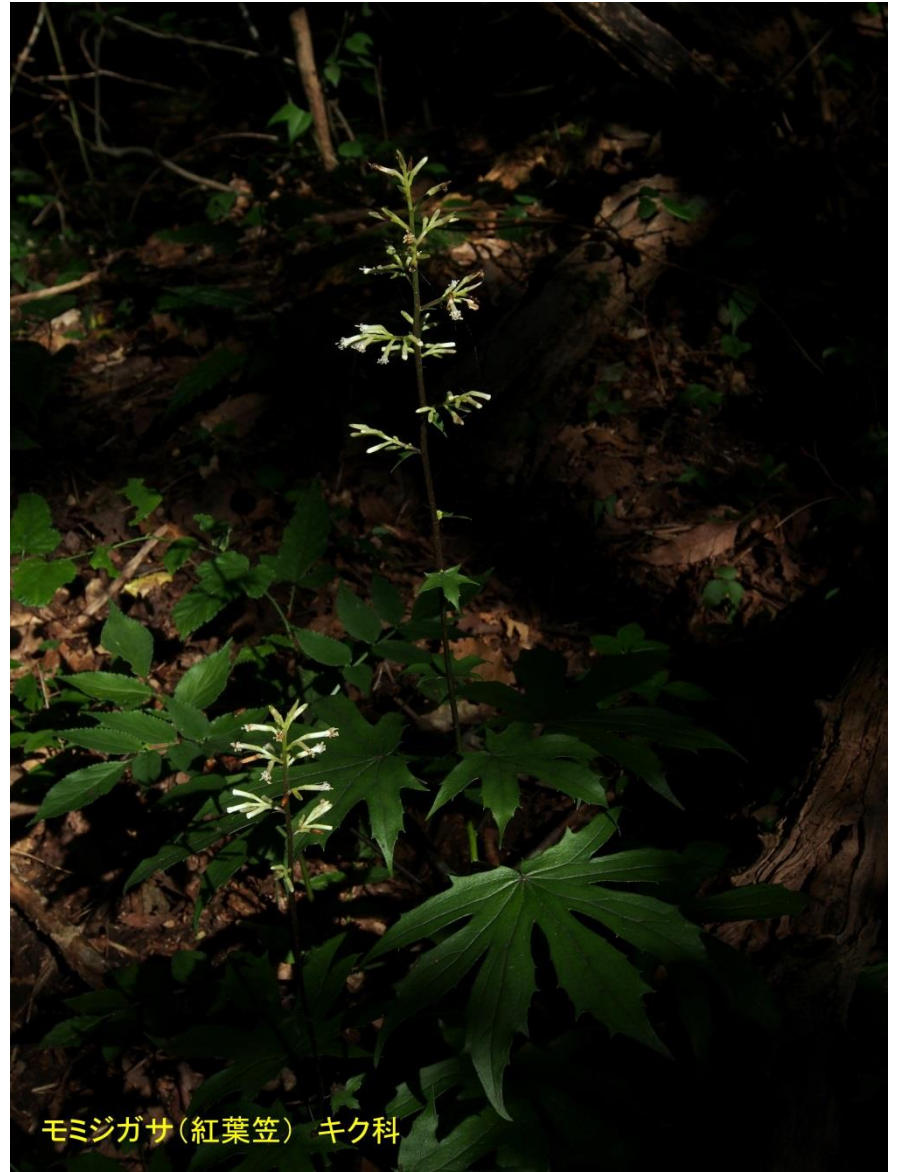
オタカラコウ(雄竜脳香) キク科



オタカラコウ(雄竜脳香) キク科



モミジガサ(紅葉笠) キク科



モミジガサ(紅葉笠) キク科



ヤマジノホトギス(山路の杜鵑) ユリ科



キバナアキギリ(黄花秋桐) シソ科



ユキザサ(雪笹) ユリ科



ガンクビソウ(雁首草) キク科

↑
清水峠

15:57

牛進入防止ゲート



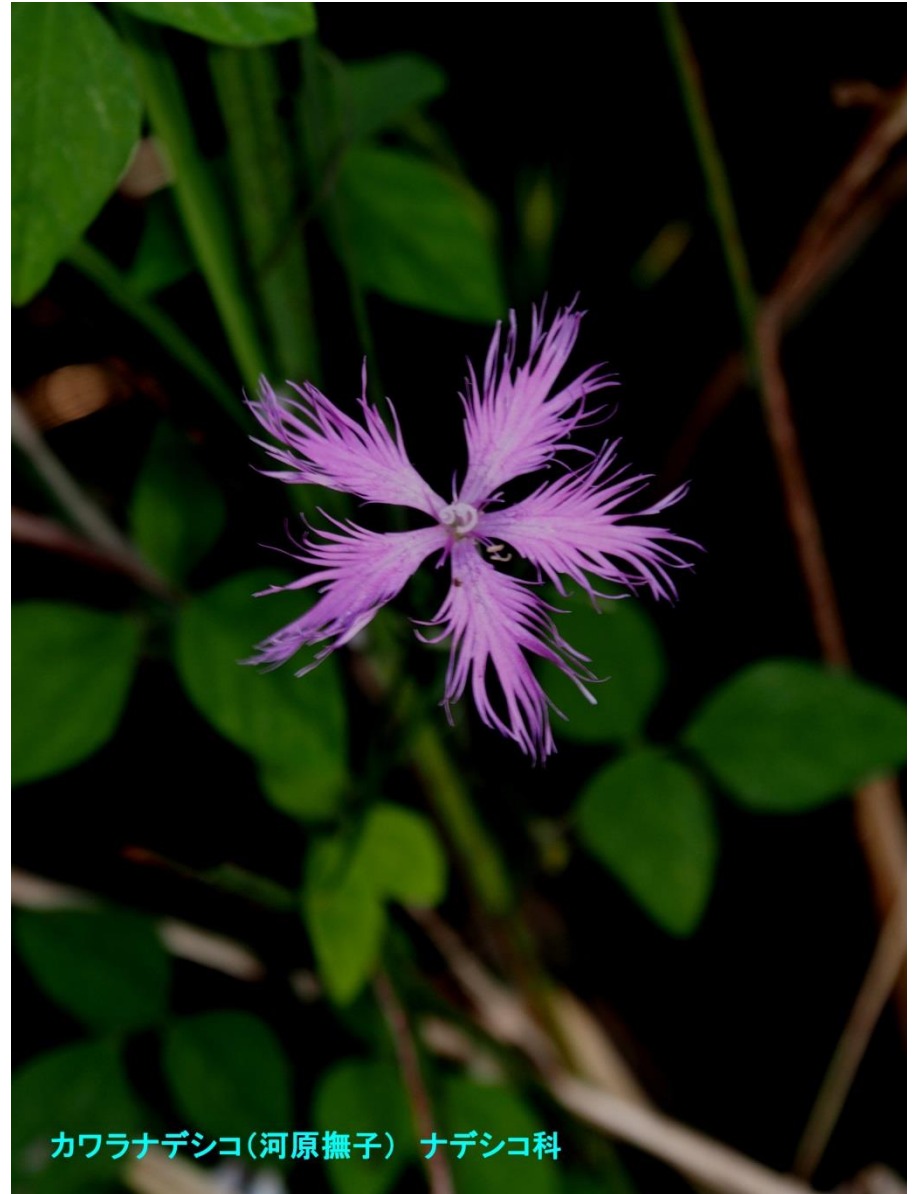
ゲンノショウコ(現証拠) フウロソウ科
別名:フウロソウ(風露草)



シモツケ(下野) バラ科 落葉低木
別名:キシモツケ(木下野)



クサフジ(草藤) マメ科



カワラナデシコ(河原撫子) ナデシコ科

高岳1592m

根子岳1408m



根子岳1408m

南阿蘇村



高岳1592m

根子岳1408m

南阿蘇村

16:15





ノコンギク(野紺菊) キク科



16:21

NTT西日本清水無線中継所



ハリオツギ(糊空木)
ユキノシタ科 落葉低木



シラヤマギク(白山菊) キク科



ヤマハッカ(山薄荷) シソ科



ツルボ(蔓穂) ユリ科

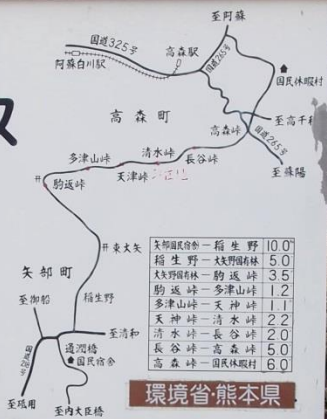


イタチササゲ(鼬豇豆) マメ科

九州自然歩道 南外輪コース

本コースは、外輪山の頂上附近を通り、矢部町（国民宿舎）と高森町（国民休暇村）を結ぶものです。駒返峠、高千穂野、清水峠などには、それぞれの由来や伝説があり、住時の交通、文化をうかがうことができます。また北には阿蘇五岳の四季おりおりの景観が、南には矢部郷一帯の広がりや九州育梁山地の眺望がすばらしいところです。

国有林内は、ナラ、ヤマモミジ、アセビ、ミヤマキリシマ等が混在する樹林内を通り、それを過ぎると原野が広がるといった変化に富んだコースです。



16:44 無事、清水峠(きよみずとうげ)910mに到着



ヤマホトトギス(山杜鵑) ユリ科

清水峠～駒返峠登山口駐車場までの 吉岡車で移動時の車道わきの山野草



烏帽子岳1337m

御竈門山1153m

中岳1506m

高岳1592m

17:09

高岳1592m

根子岳1408m

17:12

五本松について

所在地、阿蘇郡南阿蘇村大字久石清水
由緒と伝承

雲龍山清水寺・曹洞宗

本尊 千手観音菩薩

現在地は、清水寺が御開帳厨子の扉を開き、中に納めていた（いつもは拝観できない）佛像を信者や一般の人に五ヶ日間公開し祭典を催したところである。当時は「山神祭」と呼ばれていたが、祭場の周囲に五本の松が植樹されていたのでいつしか「五本松」と呼ばれるようになった。

南阿蘇村文化財保護副委員長 小出篤雄

中郷竹崎原野組合の平成二十二年度総会に於て、五本松の整備を決定し、松の植樹とともに広く一般に利活用していた。だくため、周辺を整備し公園化した。

平成二十三年三月吉日

夜峰山913m

烏帽子岳1337m

高岳1592m

17:15
五本松公園

• 五本松公園



17:34 駒返峠(こまがえりとうげ)登山口駐車場

烏帽子岳1337m

中岳1506m

高岳1592m

御竈門山1153m

駒返峠(こまがえりとうげ)登山口駐車場からの高岳1592m方面

17:34



グリーンロード南阿蘇

17:34



17:35 駒返峠登山口駐車場

グリーンロード南阿蘇



17:40



鳥帽子岳1337m

中岳1506m

高岳1592m

御竈門山1153m

17:40



駒返城跡

17:42

阿蘇南外輪山

17:44

駒返城跡

17:45

阿蘇南外輪山

←駒返峠登山口駐車場

17:47グリーンロード南阿蘇